



大幸薬品

# 2024年12月期 (FY2024) 第2四半期(中間期) 連結決算報告

2024年8月

大幸薬品株式会社

証券コード：4574

## 1. 第2四半期(中間期) 連結決算業績

## 2. 第2四半期(中間期) セグメント別事業概況

## 3. 今後の事業戦略について



## 1. 第2四半期(中間期) 連結決算業績

# 連結経営成績

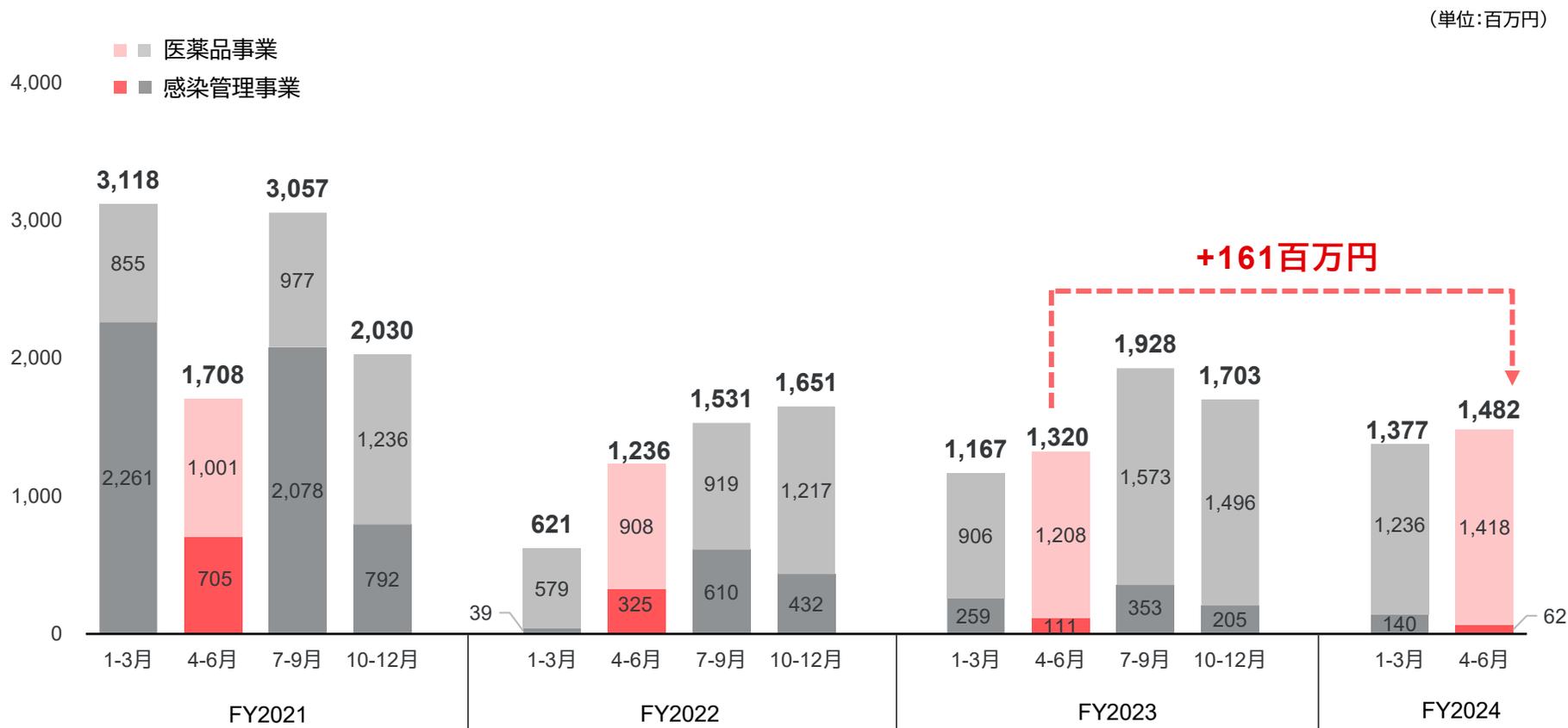
- 医薬品事業における、堅調な需要と供給体制の強化が売上高を牽引
- 期初からの継続的なコスト管理等により収益体質の改善は進捗し、黒字転換

(単位:百万円)

	FY2023		FY2024		増減額	増減率
	中間期 累計実績	売上比	中間期 累計実績	売上比		
売上高	2,488	-	2,860	-	+371	+14.9%
売上総利益	1,050	42.2%	1,678	58.7%	+627	+59.8%
販売費及び一般管理費	1,447	58.1%	1,196	41.8%	△251	△17.3%
営業利益	△396	△15.9%	482	16.9%	+878	-
経常利益	△510	△20.5%	528	18.5%	+1,038	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	△514	△20.7%	764	26.7%	+1,279	-

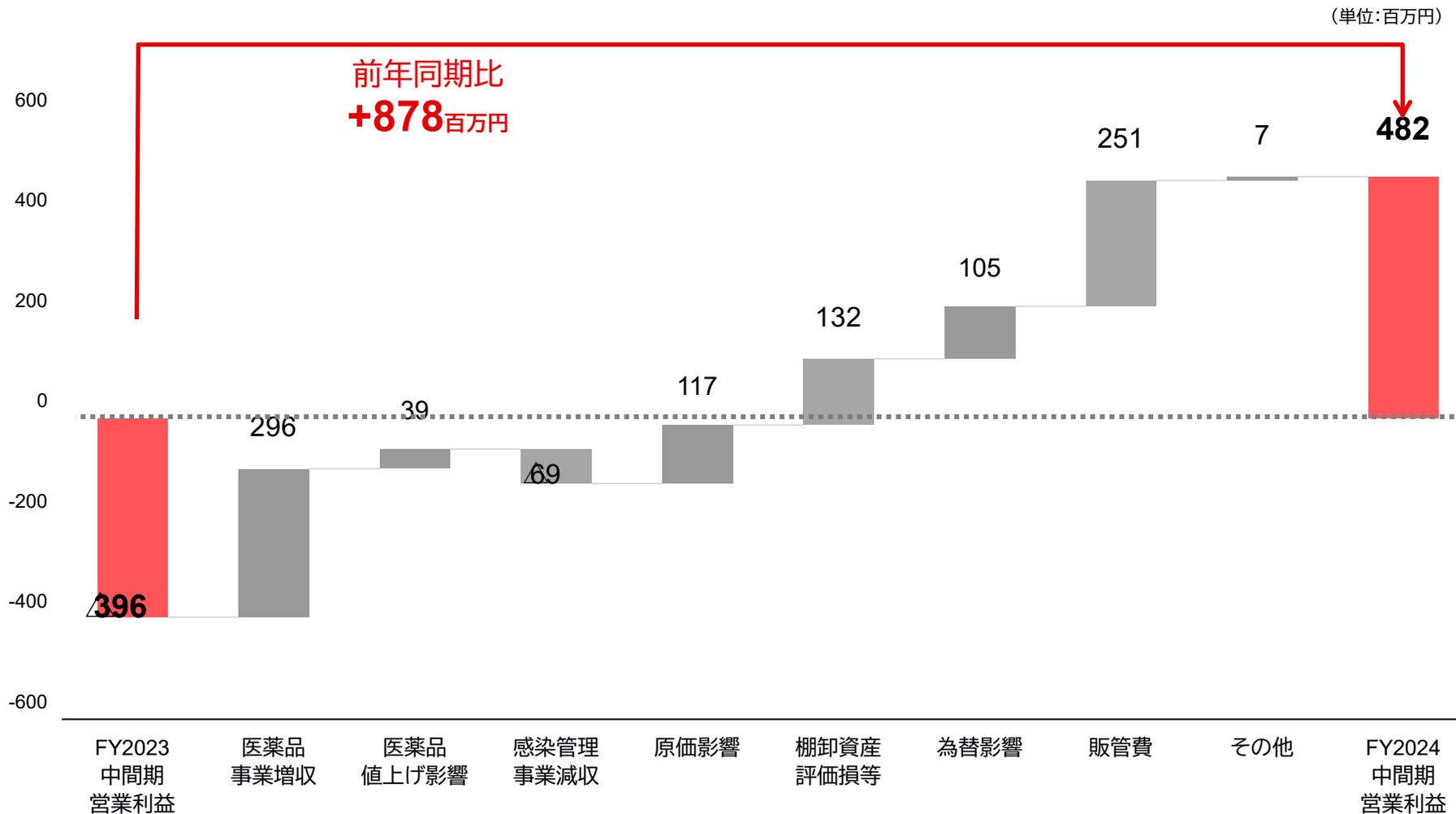
# 連結売上高推移 (四半期)

- 医薬品事業の増収が寄与したことから、第1四半期(1-3月)に続き、第2四半期(4-6月)も対前年同期で増収



# 営業利益の変動要因

- 医薬品事業の増収影響と販管費の圧縮に加え、為替変動の影響も受けて増益
- 原料・資材等の値上げ影響があるものの、操業度向上や減価償却費の減少により原価改善



# 販売費及び一般管理費

- 販売費は広告宣伝費や販売促進費等のマーケティング費用の後ろ倒しの影響があるものの、販管費全体では継続的なコスト低減施策により前年同期比で251百万円の減少

(単位:百万円)

	FY2023		FY2024		増減額	増減率
	中間期 累計実績	構成比	中間期 累計実績	構成比		
販売費及び一般管理費合計	1,447	-	1,196	-	△251	△17.3%
販売費	270	18.7%	173	14.5%	△97	△35.9%
広告宣伝費	92	6.4%	58	4.9%	△34	△36.7%
販売促進費	71	4.9%	42	3.5%	△29	△40.9%
運送費	106	7.4%	72	6.1%	△33	△31.8%
人件費	580	40.1%	595	49.8%	+15	+2.6%
その他経費	596	41.2%	427	35.7%	△169	△28.4%
研究開発費	114	7.9%	79	6.6%	△35	△30.9%
支払手数料	170	11.8%	147	12.4%	△22	△13.3%

# 経常利益・中間純利益

- 営業外収益では、為替差益が増加
- 営業外費用では、感染管理事業に係る工場の操業再開や、茨木工場の転貸により操業停止関連費用145百万円が減少

(単位:百万円)

	FY2023 中間期 累計実績	FY2024 中間期 累計実績	前期比	増減要因等
営業利益	△396	482	+878	
営業外収益	51	63	+11	主に為替差益の影響
営業外費用	165	18	△147	主に操業停止関連費用の減少
経常利益	△510	528	+1,038	
特別利益	87	200	+112	受取補償金200百万円
特別損失	69	4	△65	
税金等調整前中間純利益	△492	724	+1,217	
法人税、法人税等調整額	22	△40	△62	
親会社株主に帰属する 中間純利益	△514	764	+1,279	

■ 利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加等により純資産は増加

(単位:百万円)

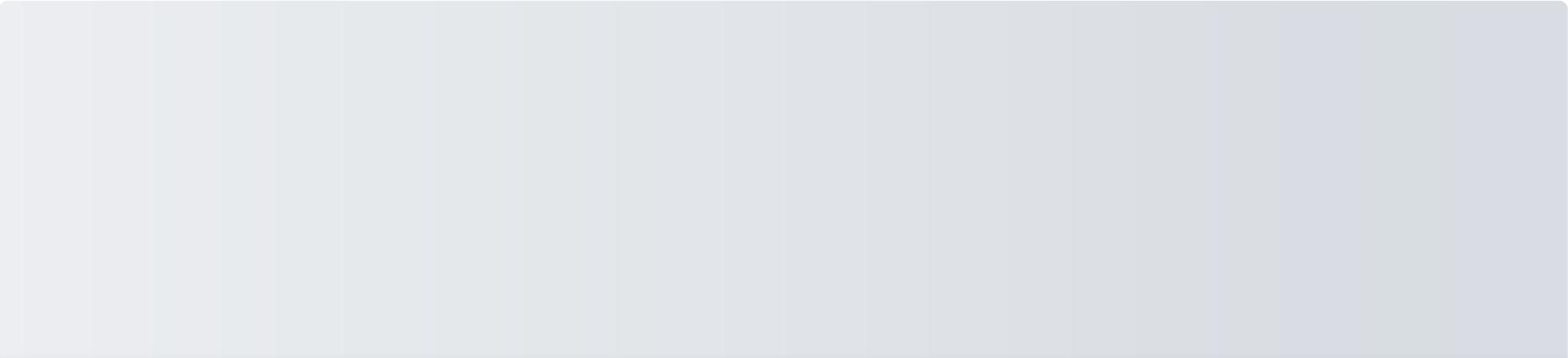
	FY2023 期末	FY2024 中間期末	前期比	増減要因等
流動資産	9,109	8,795	△313	
現金及び預金	5,484	5,152	△332	
売上債権	1,985	1,815	△169	
棚卸資産	1,374	1,609	+235	医薬品在庫 1,391百万円 感染管理在庫 206百万円
固定資産	4,111	4,587	+476	
資産合計	13,220	13,383	+163	
流動負債	3,046	2,437	△609	
固定負債	3,433	2,871	△561	長期借入金の返済等
純資産	6,739	8,074	+1,334	中間純利益の計上
負債純資産合計	13,220	13,383	+163	
自己資本比率	51.0%	60.3%		

# 連結キャッシュ・フロー状況

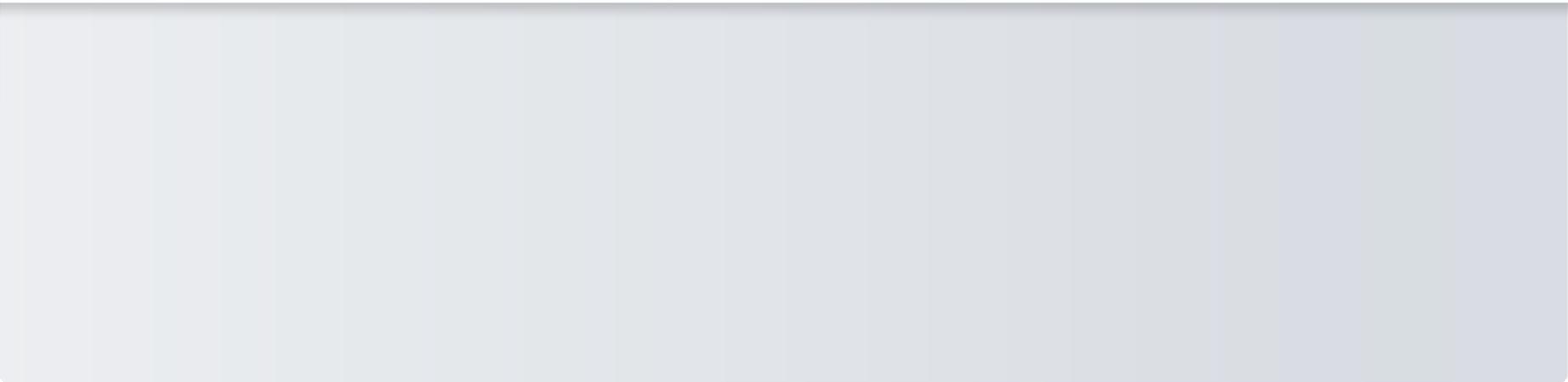
(単位:百万円)

	FY2023 中間期	FY2024 中間期	主な要因 (FY24)	
営業CF	126	256	税金等調整前当期純利益	724
			減価償却費	128
			売上債権の減少	191
			棚卸資産の増加	△233
			仕入債務の減少	△25
			未払金の減少	△363
			利息の支払額	△4
			法人税等の支払額	△7
投資CF	707	△135	設備投資による支出	△97
財務CF	827	△562	長期借入金の返済	△603
			新株予約権行使による株式発行収入	59
現金・同等物換算差額	53	113		
キャッシュ増減 ※1	1,714	△327		
キャッシュ期末残高	4,511	4,916		

※1 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額



## 2. 第2四半期(中間期) セグメント別事業概況



# セグメント別事業概況

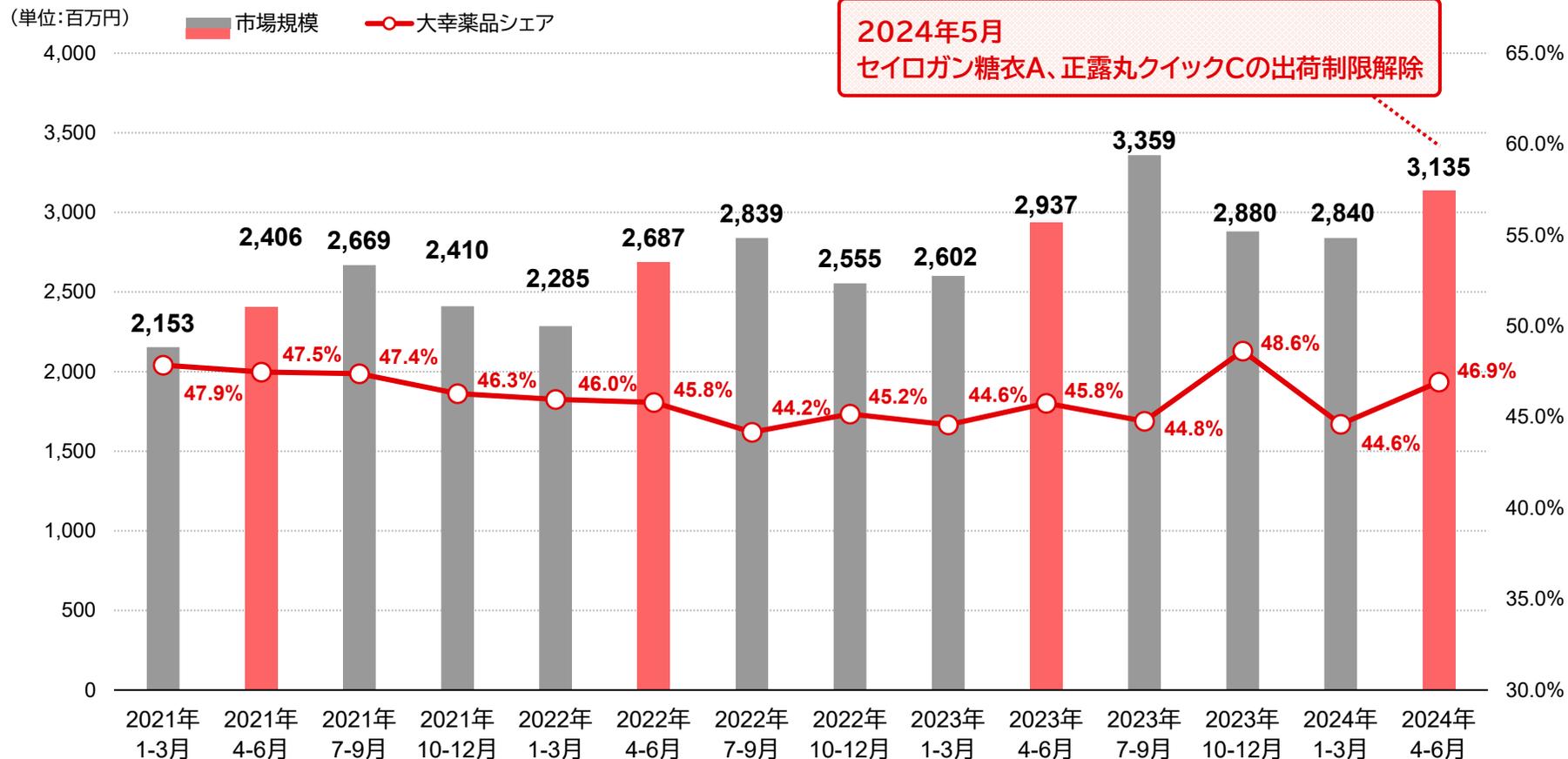
- 医薬品事業 : 国内、海外事業とも増収により、セグメント利益も増益
- 感染管理事業 : 売上は減少も、費用抑制により損失幅は改善

(単位:百万円)

		FY2023 中間期 累計実績	FY2024 中間期 累計実績	増減額	増減率
医薬品事業	売上高	2,115	2,654	+539	+25.5%
	セグメント損益	514	1,086	+571	+110.9%
	利益率	24.3%	40.9%	-	-
感染管理事業	売上高	370	203	△167	△45.1%
	セグメント損益	△407	△195	+211	-
	利益率	△109.9%	△96.1%	-	-
その他事業	売上高	2	2	+0	△15.7%
	セグメント損益	△11	△6	+5	-
	利益率	△430.7%	△288.4%	-	-

- 国内止瀉薬市場は対前年同期比(1月-6月)で108.2%とコロナ前の水準を上回って推移
- 当社シェアは、一部製品の出荷制限を解除したこと等により46.9%に増加

## 国内止瀉薬市場



※出所:株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

- 第2四半期より正露丸及びセイロガン糖衣Aの出荷価格改定(値上げ)を実施
- セイロガン糖衣Aと正露丸クイックCは出荷制限の解除により対前期比で順調に増加

## 製品カテゴリー別売上高

(単位:百万円)

	FY2023	FY2024	増減額	増減率
	中間期 累計実績	中間期 累計実績		
国内医薬品事業売上高	1,702	1,835	+132	+7.8%
正露丸	1,174	1,171	△2	△0.3%
セイロガン糖衣A	704	762	+58	+8.2%
正露丸クイックC	67	125	+57	+86.2%
その他 ※1	37	50	+12	+32.3%
返品・値引・協賛等	△281	△273	+7	-

※1 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシャット」

正露丸



セイロガン糖衣A



正露丸クイックC



ラッパ整腸薬BF



ピシャット下痢止めOD錠



- 製造スケジュール調整により遅れていた供給を、香港向けで一部再開したことにより増収
- 出荷調整の影響はあるものの、概ね計画通りで進捗

## 地域別売上高

(単位:百万円)

	FY2023	FY2024	増減額	増減率
	中間期 累計実績	中間期 累計実績		
海外医薬品事業売上高	412	819	+406	+98.5%
中国	299	163	△136	△45.5%
香港	52	515	+462	+877.4%
台湾	77	148	+71	+92.2%
その他対象エリア ※1	23	44	+21	+95.3%
返品・値引・協賛等	△39	△52	△12	-

※1 米国、カナダ、タイ、モンゴル等

# SEIROGAN®

正露丸



セイロガン糖衣A



- 業務用は引き続き低調も、一般用においては前年同期をやや上回る水準で推移
- 売上規模に応じたコスト管理等、収益性改善の強化によりセグメント損益は改善

## 対象顧客別売上高

(単位:百万円)

	FY2023	FY2024	増減額	増減率
	中間期 累計実績	中間期 累計実績		
感染管理事業売上高	370	203	△167	△45.1%
国内一般用	166	175	+8	+5.0%
国内業務用	253	92	△160	△63.5%
海外	45	15	△29	△64.9%
返品・値引・協賛等	△95	△80	+14	-

### クレベリン



置き型2ヵ月用



置き型1ヵ月用



スプレー250ml



ミニスプレー



# 大幸薬品

## 将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、  
将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません



大幸薬品

## 3. 今後の事業戦略について

2024年8月

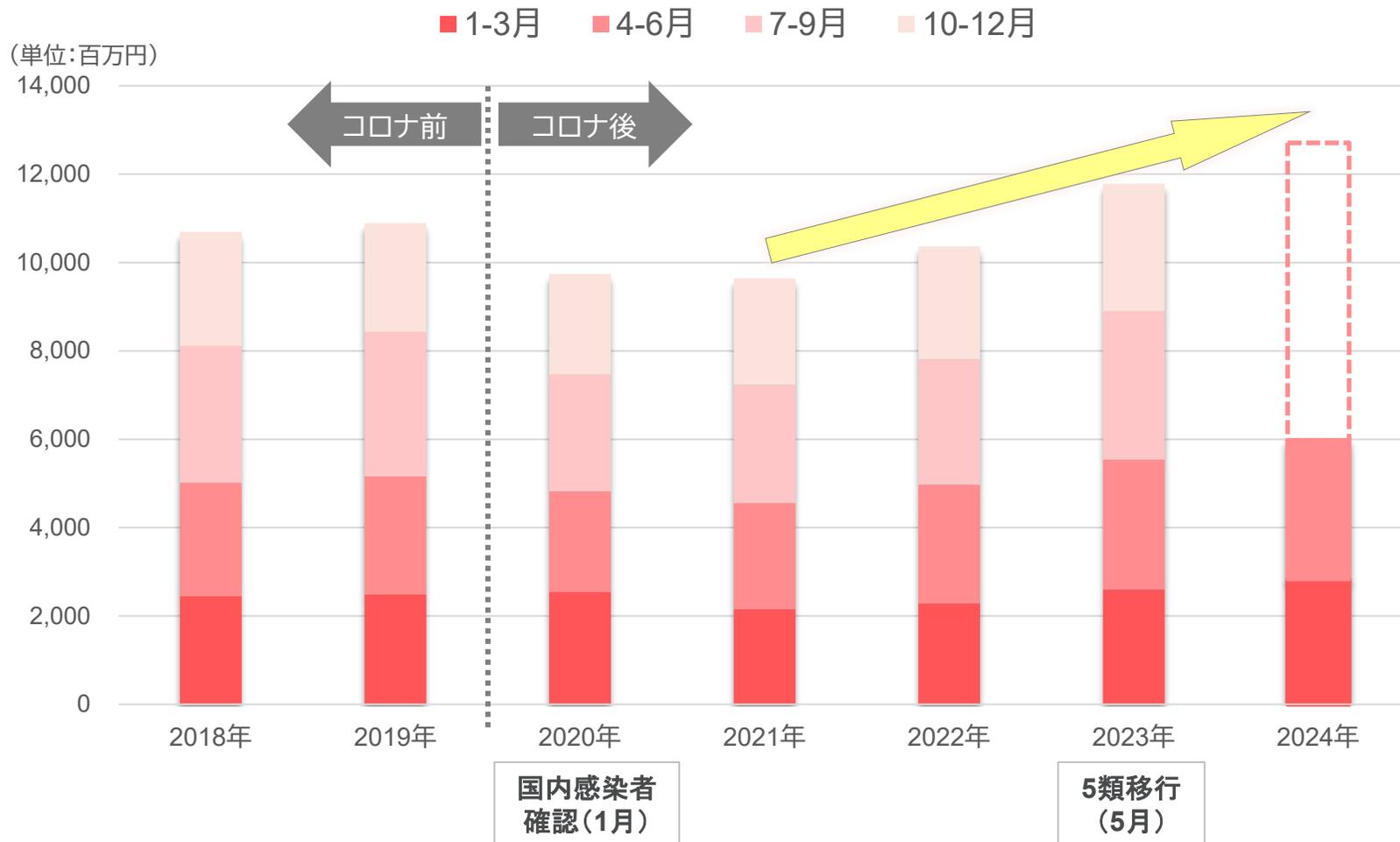
大幸薬品株式会社

証券コード：4574

- ✓ 医薬品事業を中心に収益基盤を構築
- ✓ 感染管理事業は業績リスクを最小化し、採算性を改善
- ✓ 経営のスリム化によって収益体質を改善

売上高の9割以上を医薬品事業で構成

## ■ 止瀉薬市場はコロナ前の水準以上へ回復傾向



※ 出所:株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース  
 ※ 2024年7月-12月は当社にて見込計算

- 吹田工場/小国工場のシフト生産体制、京都工場の医薬稼働ともに完了

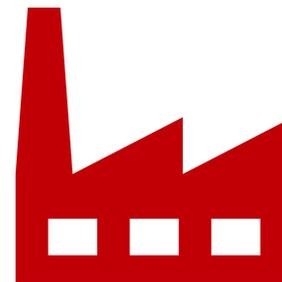
吹田工場/小国工場



シフト生産体制による  
操業時間拡大

完了

京都工場



糖衣Aの包装  
ライン立ち上げ

完了



3月より糖衣A 包装ラインが稼働開始



名称	京都工場・研究開発センター
所在地	〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-2-1 (けいはんな学研都市)



供給不足による  
出荷制限



正露丸100粒、糖衣A36錠の出荷制限は5月に解除済み  
今後、糖衣Aを中心に供給量はさらに改善する見込み

ブランド	正露丸				セイロガン糖衣A			
製品名	正露丸 100粒	正露丸 200粒	正露丸 400粒	正露丸 クイックC 16カプセル	セイロガン 糖衣A36錠	セイロガン 糖衣A84錠	セイロガン 糖衣A 48錠PTP	セイロガン 糖衣A携帯用 24錠
写真								
供給状況	○	-	-	○	○	-	-	-
今後の 出荷見通し	○	△	△	○	○	●	△	●

○・・・通常出荷中    ●・・・下期以降 順次出荷    △・・・供給状況を見ながら来年以降検討

## ■ 正露丸、セイロガン糖衣Aの出荷価格を改定

### 世界的な価格高騰

- エネルギー価格
- 資源価格
- 原材料価格
- 物流費
- 為替影響(円安) 等



約20年ぶりの値上げ

2024年5月出荷分より 出荷価格を約20%値上げ

- 23年にデザイン刷新した正露丸クイックCが、24年も引き続き伸長
- 正露丸の販売数量が増える8月に合わせた施策でさらなる販売向上を図る

国内店頭売上(インテージ:1-6月)



正露丸ブランド、月別売り上げ指数



対象期間：2014年4月～2023年3月  
 出典：インテージSDI、インテージSRI+  
 整腸薬市場 2014年4月～2023年3月 正露丸ブランド販売金額

算出方法：『正露丸』『セイロガン糖衣A』『正露丸クイックC』の2014年4月～2023年3月までの各年間売上を12で割った月売上平均値を100としたときの月ごとの指数

〔旧パッケージ〕



リニューアル

〔新パッケージ〕



- 7月24日より、「学生生活」「訪日観光客」「外出中」といった様々な場面に合わせた動画を、YoutubeやInstagram等 各種WEB媒体に展開中

	既存ターゲット ① 10代 学生 男女	既存ターゲット ② 訪日観光客	新ターゲット 外出中の方
コンセプト	<b>思い出に、おなかトラブルは、似合わない</b>		
サブコンセプト	学生生活	日本限定品で、 おみやげのMUST BUY	さまざまな外出
オケージョン 訴求動画	<p style="text-align: center;">20本</p> 	<p style="text-align: center;">23本</p> 	<p style="text-align: center;">24本</p> 

- 信頼回復に向けて、JSA規格制定や エビデンス取得を優先

78期(FY2023)

信頼回復に向けて  
マーケティング  
投資優先



79期(FY2024)

信頼回復に向けて  
エビデンス強化に係るR&Dを優先

- ✓ JSA規格の制定
- ✓ エビデンス取得



コストコントロールの強化

- ✓ 売上規模に応じたマーケティング費用の投下

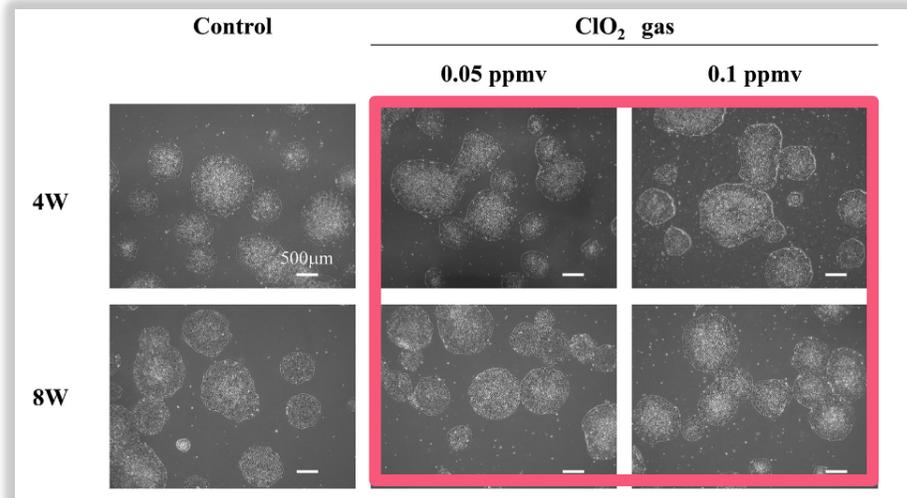
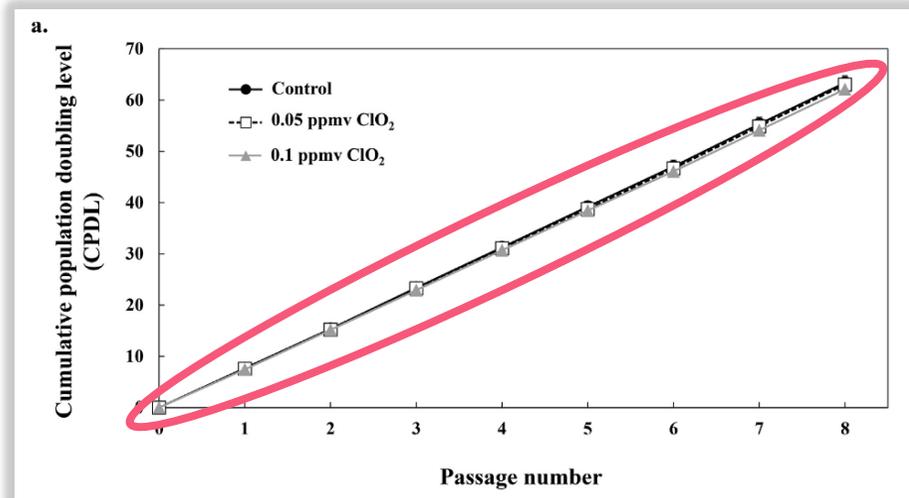


## ■ 2025年7月にJSA規格制定(※)が完了する計画

※JSA規格制定(JSA:一般財団法人日本規格協会)

「二酸化塩素ガスを用いた浮遊細菌除菌・浮遊ウイルス除去測定方法」に関する規格を制定予定





第19回日本再生医療学会（2020, Web）大阪大学共同研究講座で発表 Okawa, R., et.al. Regen Ther (2022)

## <安全性>

- 0.05 ppmv二酸化塩素ガスはMSCの細胞培養で安全
- 0.1 ppmv二酸化塩素ガスはiPS細胞の細胞培養で安全

下記における二酸化塩素ガスの影響がないことを確認

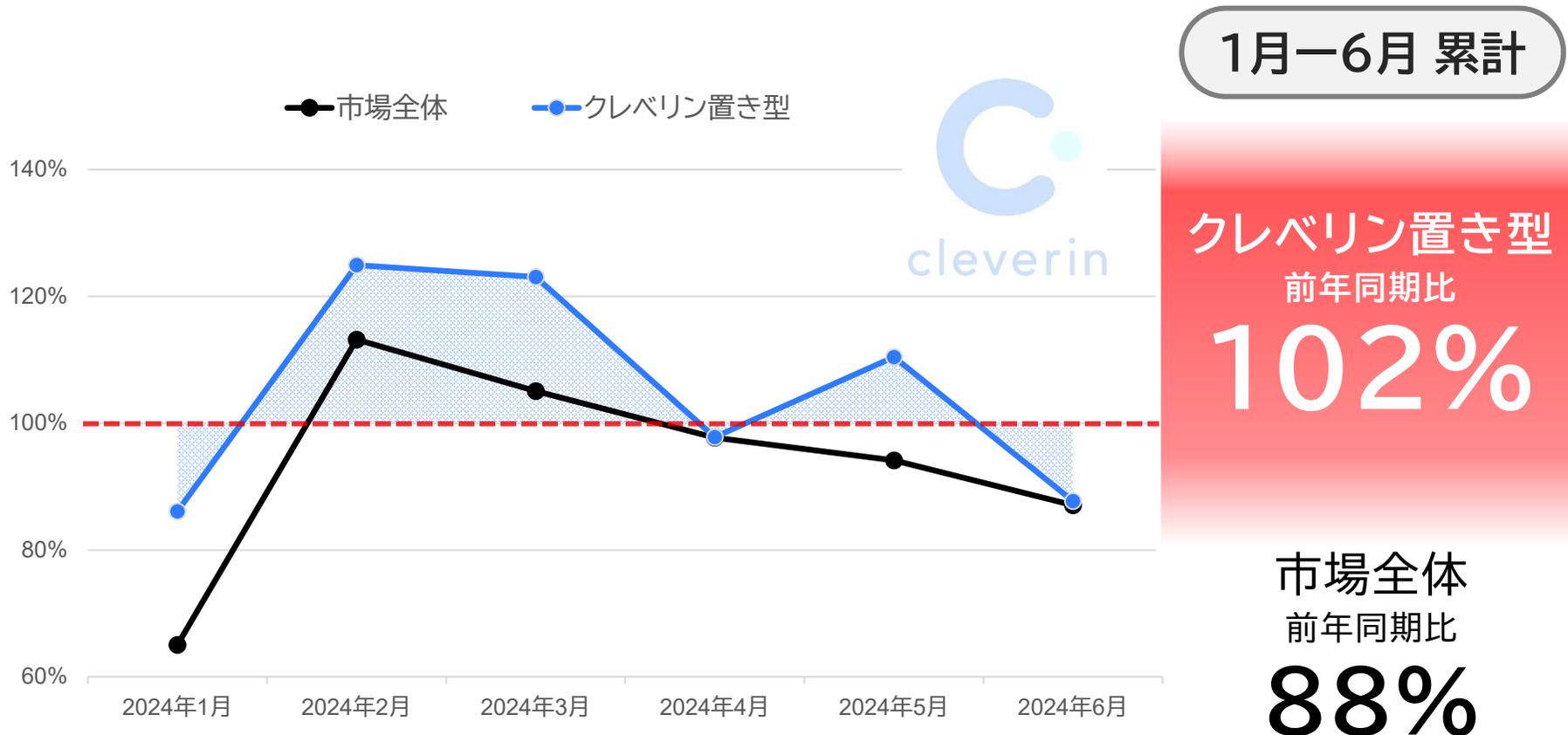
- 細胞のエネッセンス
- 細胞死
- 細胞表面の分化マーカー
- 細胞増殖関連遺伝子発現

## <有効性>

- 0.01 ppmv二酸化塩素ガスは細菌やウイルスを不活化する
- 0.03 ppmv二酸化塩素ガスはカビの繁殖を抑制する

**低濃度二酸化塩素ガスは 再生医療分野で安全かつ有効といえる**

■ クレバリン置き型の店頭販売は、前年同期比(1月-6月累計)を上回って推移



※出所: 株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース(Weekly)

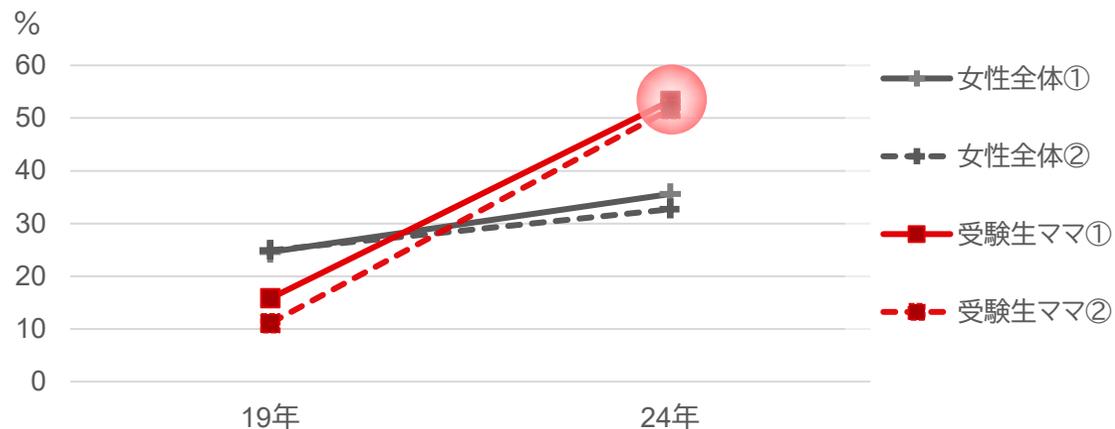
## ■ コロナ禍を経て除菌意識が大幅に上がった“受験生のご家族”にフォーカス

### 衛生意識調査

(シタシオン調査：24年3月)



あなたの「健康や体調管理、衛生面」に対する考え方や接し方についてうかがいます。それぞれあてはまるものをお答えください。



①

自分の身体に触れるものに関しては、目に見えないウイルス・菌を意識し、こまめに除菌対策をしている

24.6%

35.6%

15.8%

53.3%

②

どんなクリンネス製品を購入するときも「除菌」効果があるものをかなり意識して選ぶ

24.9%

32.7%

11.1%

51.7%

- 受験シーズンの動画(置き型・スプレー)配信に加え、各種デジタル媒体での紹介を通じた信頼促進アクションや、EC強化等総合的なコミュニケーションを実行予定

## オンライン動画配信

置き型機能訴求

スプレーオケージョン訴求



ターゲットにマッチする  
メディア・デバイスを選定し配信

## 店頭・EC誘引施策

デジタルメディア  
タイアップ

リテールアプリ  
タイアップ



## EC強化策

旗艦店・モール店舗での販売強化



etc..

- 売上高は、医薬品事業の堅調な需要により概ね計画通りに推移
- 営業利益及び経常利益は、為替影響や各種コスト低減の状況を反映
- 当期純利益は、後述の「医薬品事業における生産体制の再編について」を踏まえ、前回予想を据え置き

(単位:百万円)

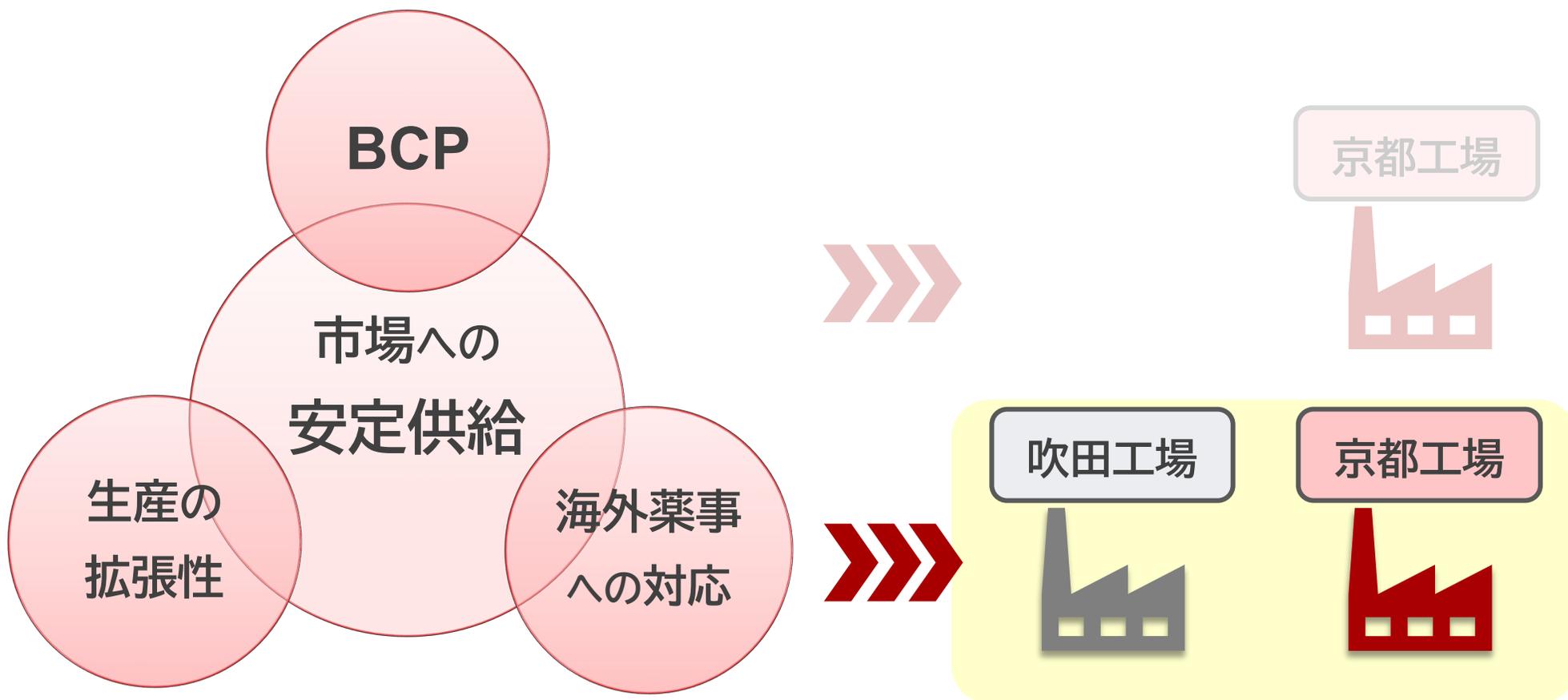
	FY2023 通期実績	FY2024 前回予想	FY2024 修正 業績予想	前回予想 との増減額	前回予想 との増減率
売上高	6,120	6,800	6,800	0	0
営業利益	△1,005	410	550	+140	+34.1%
経常利益	△1,248	360	590	+230	+63.9%
当期純利益	△3,611	550	550	0	0

2024年度 中間配当: なし

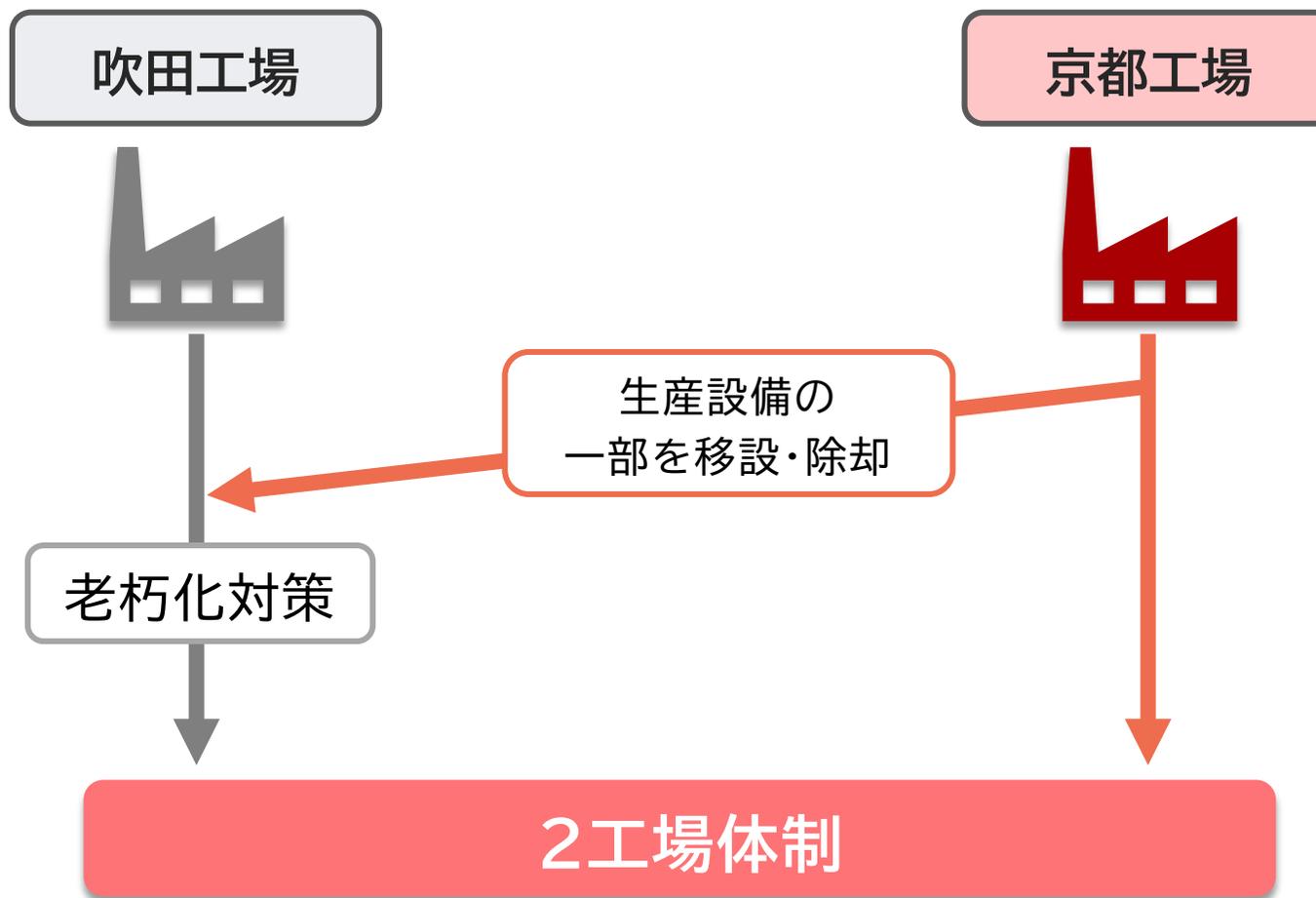
期末配当: 未定

→早期に復配ができるよう努めてまいります

- 中期的な需要見通しを踏まえ、より合理的な生産体制を再検討した結果、吹田工場・京都工場の2工場体制とする方針を決定



- 2024年12月期に 230百万円程度を減損損失として特別損失に計上





世界のお客様に  
健康という  
大きな幸せを  
提供します。

## 医薬品事業



においがいい糖衣錠

**セイロガン糖衣A**

第2類医薬品

昔ながらの常備薬

**正露丸**

第2類医薬品



## 感染管理事業



ご質問は、IRサイトの「IRに関するお問い合わせ」からお問い合わせをお願いします。

電話によるお問い合わせにつきましては、大変恐縮ですが、お取次ぎは致しかねますので、予めご了承下さい。

より一層、フェアディスクロージャーに取り組んでまいりますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。



# 大幸薬品

## 将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、  
将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません